様式第１号

別記

令和６年度山形県３Ｒ研究開発事業費補助金に係る事業計画書

様式中の「例」、「※」等については適宜削除すること。

１　事業及び申請者の概要

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ① | 研究開発テーマ又は事業名 | | | | | | (例：「○○における●●のための◎◎に関する研究開発（事業）」 | | | | | |
| ② | 事  業  の  概  要 | 対象とする廃棄物 | | | | | (例：「○○から排出される●●」、「○○で発生する●●」) | | | | | |
| ③ | 共同研究者  (所属名・部署・職名・氏名) | | | | |  | | | | | |
| ④ | 研究開発・事業の  主な実施場所 | | | | 名　称 |  | | | | | |
| 所在地 |  | | | | | |
| ⑤ | 研究開発の  実施予定期間 | | | | 開始日 | 令和　　年　　月　　日 | | | | | |
| 完了日 | 令和　　年　　月　　日 | | | | | |
| ⑥ | 事業費 | | | 年度 | | 年度 | 年度 | | 年度 | | 合　計 |
| 金額　(千円) | |  |  | |  | |  |
| ⑦ | 申  請  者  の  概  要 | 名　称 | | | | |  | | | | | |
| ⑧ | 代表者　職名・氏名 | | | | |  | | | | | |
| ⑨ | 構成員の概要 | | | | | ※　複数の事業者で事業を実施する場合のみ記載すること。 | | | | | |
| ⑩ | 法人の所在地 | | | | | 〒 | | | | | |
| ⑪ | 製造拠点の所在地 | | | | | 〒 | | | | | |
| ⑫ | 創業の時期 | | | | | 年　　月 | | | | | |
| ⑬ | 法人設立の時期 | | | | | 年　　月 | | | | | |
| ⑭ | 主な業種 | | | | |  | | | | | |
| ⑮ | 主な業務内容 | | | | |  | | | | | |
| ⑯ | 資本金の額 | | | | | 千円 | | | | | |
| ⑰ | 従業員数 | | | | | 人 | | | | | |
| ⑱ | 直近  ３か年  の業績 | | 期　間 | | | 年　月期 | | 年　月期 | | 年　月期 | |
| 売上高　　(千円) | | |  | |  | |  | |
| 当期利益　(千円) | | |  | |  | |  | |
| ⑲ | 担  当  者 | 所属・部署・職名・氏名 | | | |  | | | | | |
| TEL・FAX | | | |  | | | | | |
| Ｅメールアドレス | | | |  | | | | | |

２　事業の目的

３　事業の必要性

　※　事業が求められる背景、社会情勢を踏まえ、具体的に記載すること。

４　事業についてのこれまでの取組み及び進捗

(1) 申請者によるこれまでの取組み

※　年度を連続して２回目以降の交付申請となる場合は、これまでの実施結果を踏まえて具体的に記載すること。

(2) 申請者による事業の進捗

※　事業について、申請者による今後の事業化・商品化（事業完了を100％とする）に対する現在の進捗割合及びその積算の根拠等を記載すること。

①　進捗割合　　　　　　　　／　100％

②　上記①の積算の根拠・考え方

５　事業の内容等

(1) 事業の内容

※　廃棄物の発生、３Ｒに取り組む技術開発の状況等に関するイラストやフロー図、数値等を用いて、事業の全体像を具体的に記載すること。また、年度を連続して２回目以降の交付申請となる場合は、これまでの実施結果を踏まえて具体的に記載すること。

(2) 事業の新規性・独創性等注目すべき点

(3) 事業の実施体制

※　事業の実施体制、組織図、それぞれの役割分担等について記載すること。

６　見込まれる３Ｒ推進の効果

※　事業による３Ｒ推進の効果について、地域の実情や特性を踏まえ、数値を用いて具体的に記載すること。

７　事業の今後の展開方針、事業化・商品化計画等

※　事業の実施結果を活かした今後の展開方針、事業化・商品化の計画等について、需給の状況、市場規模等を踏まえて記載すること。なお、事業化・商品化する場合は、取り扱う廃棄物（①原料とするもの、②事業化・商品化に伴い新たに発生するもの）のそれぞれについて、種類、量、収集計画（保管場所、保管方法、収集費用等）をわかりやすく記載すること。

８　３Ｒ推進の他に見込まれる効果

※　事業による３Ｒ推進の効果以外の、温室効果ガス排出量削減効果及びその他の副次的な効果（環境負荷の低減、安全性の向上等）を記載すること。

９　環境マネジメント等の取組み

※　該当する□をチェックすること

□ ①　ISO14001

□ ②　エコアクション21

□ ③　自社環境管理規定

10　技術開発の状況

(1) 国内外での技術水準と当事業の目標とする技術水準との関係

(2) 今後の技術開発要素と当事業で行おうとする技術開発の関係

11　申請者による類似の技術開発に対する他の助成制度の利用について

※　申請者による類似の技術開発に対する当補助制度以外の利用に係る実績及び予定の有無等について当てはまる□をチェックの上、①の場合にはそれぞれア～エを記載すること。

(1) 利用実績

□ ①　あ　り

ア　その制度の名称及び概要

イ　利用年度

ウ　交付額

エ　事業の内容及び当事業との関係

□ ②　な　し

(2) 利用予定

□ ①　あ　り

ア　その制度の名称及び概要

イ　利用年度

ウ　交付額

エ　事業の内容及び当事業との関係

□ ②　な　し